

# 向河原遺跡

一般国道52号（甲西道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報

1994. 3

山梨県教育委員会  
建設省甲府工事事務所

## 序

向河原遺跡は、甲府盆地西部の山梨県中巨摩郡甲西町に所在し、楕形山を望む滝沢川扇状地に位置しております。本遺跡の発掘調査は、一般国道52号（甲西バイパス）建設工事に伴い、平成4年度から2年間にわたって実施され、平成5年度で調査も終了いたしました。この報告書は平成5年度分の調査の概要であります。

今回の調査では2層の遺構面が確認されております。第1層目では溝・窪地などを伴う広範囲な水田跡が発見され、出土遺物や構造から江戸時代末期のものと推定されました。第2層目では、試掘調査によって既に確認されている杭列で両側を挟まれた水路跡が発見されました。さらに、この溝の両側には、地境と考えられる3本の溝跡が発見されました。これらの遺構は出土遺物などから、鎌倉時代末期から室町時代初めのものと推定されております。なお、昨年度の調査では県内でもめずらしい弥生時代中期末から後期初頭の小区画水田跡が発見されております。いずれは2年間の発掘調査の成果も1冊の報告書にまとめられることになるでありますが、今回の調査概報も多くの方々の研究の一助になれば幸甚であります。

末筆ながら、種々協力を賜りました関係機関各位、地元の方々並びに直接調査、整理に従事していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

1994年3月

山梨県埋蔵文化財センター

所長 大塚 初重

## 目次

1. 調査の経過
2. 遺跡をとりまく環境
3. 発見された遺構と遺物
4. まとめ

## 例言

1. 本書は、1993年度（平成5年度）に実施した山梨県中巨摩郡甲西町江原に所在する向河原遺跡の発掘調査概報である。
2. 調査は、一般国道52号（甲西道路）改築工事に伴う事前調査であり、山梨県教育委員会が建設省より委託を受け、山梨県埋蔵文化財センターが実施した。
3. 本書の執筆・編集は米田明調・高野政文が行った。
4. 本報告書にかかる出土品・図面・写真等は一括して山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。



第1図 遺跡位置図(1/25,000)

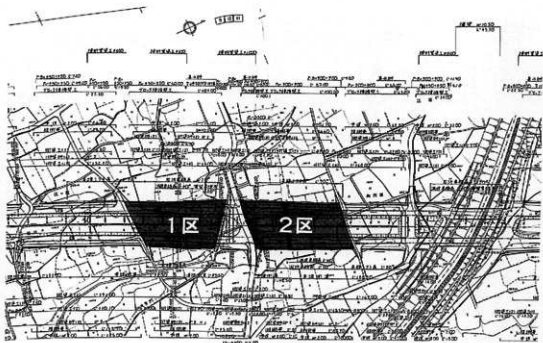
## 1. 調査の経過

(第2図)

本遺跡は、一般国道52号(甲西バイパス)の建設に伴い平成4年度から調査が開始され、今年度で2年次となる。昨年度は遺跡南半分(1区)の調査を実施したが本年度は北半分(2区)の調査を行った。調査期間は、平成5年4月14日～8月31日で、調査面積は、7,600㎡(3,800㎡×2)であった。

遺跡は地下水の流出が予想されたため、周囲をシートパイルで囲い、その内側に排水用の水路をつくった。しかし遺跡周囲の水田に水を張る頃には、時として遺構面が水没するほどの出水をみた。2区では先に実施された試掘調査によって既に確認されている杭列を伴う層位を含め二つの層について調査を行った。発掘調査は、重機の使用により土を取り除き、調査区域を遺構確認面まで掘り下げた後に5mメッシュのグリッドを東西A-E・南北1-17で設定した。

そして、第一面遺構全体の精査を行った。しかし、遺物が少なく、時代の特定に困難を要した。次に、第二面の精査を行った。杭列は試掘で確認されていたが溝状遺構などの機能の特定に困難を要した。



第2図 遺跡調査区 (1/3,000)

## 2. 遺跡をとりまく環境

本遺跡は、西に梯形山を望み、甲府盆地西部を流れる釜無川の支流となる御勤使川がつくる日本最大級の扇状地とさらにその支流である滝沢川がつくる複合扇状地の扇端及びその氾濫源の、標高約260mを測る土地に位置する。

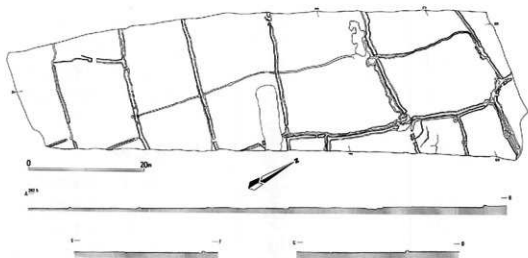
甲西バイパス建設に伴う平成元年度～平成2年度の試掘調査によって確認された周囲の遺跡でそれ以降本調査が行われた、あるいは、行われる遺跡は以下のとおりである。(第1図)

- 1、七ツ打C遺跡 (中世～近世、溝状遺構)
- 2、十五所遺跡 (古墳時代の集落跡)
- 3、村前東A遺跡 (弥生・古墳・平安時代の集落跡)
- 4、新居道下遺跡 (弥生・古墳・奈良・平安時代の集落跡)
- 5、二本柳遺跡 (中世以前の水田跡、中世の墓塚)
- 6、向河原遺跡 (中世および近世の水田跡)
- 7、油田遺跡 (弥生～平安時代の水田跡、祭祀跡)
- 8、中川田遺跡 (中世～江戸時代末期以降の水田跡)
- 9、大師東丹保遺跡 (弥生時代の水田跡、溝状遺構および中世の祭祀跡、水田跡)
- 10、宮沢中村遺跡 (戦国～明治時代の寺院跡)

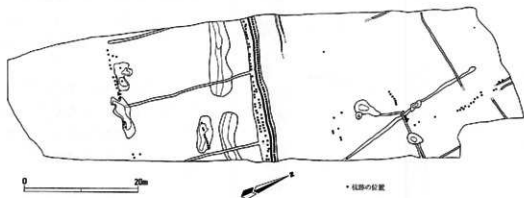
## 3. 発見された遺構と遺物

- (1) 第一面水田跡 (第3図、図版1・3・4・5)

現在の耕作面から1m前後の深さの礫層下のシルト層上に造られた水田跡が確認された。こ



第3図 2区第一面水田址

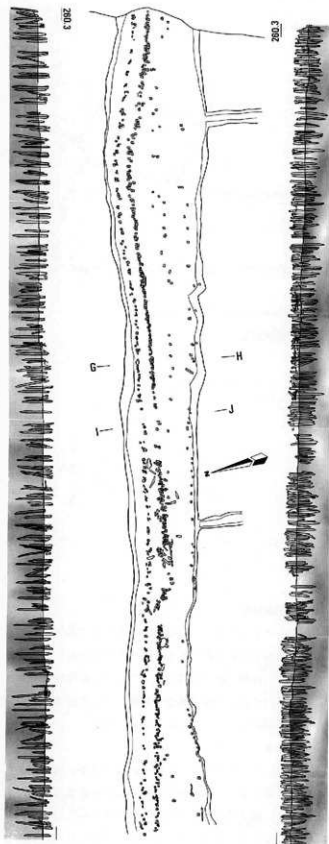


第4図 2区第二面全体図

の水田跡は一枚の田の面積が20m×15mほどのかかなり大きな区画で、しっかりした畦畔で周囲を囲まれている。水田跡の中には溝・窪地などが掘られているものもある。およそ方形を呈する水田跡はその隅に水口がみられ畦畔が切れている。この第一面の時代については甲西町役場に残る明治20年に作成された水田の図面との比較、またそれらの田の構造や規模、そして出土したわずかな陶磁器片などから推測して、江戸時代末期のものではないかと考えられる。

(2) 第二面水路跡 (第4・5図、図版2・6・7・8・9・10)

第一面から70cm程下の砂層の上面で確認できた。ここでは両面を杭列で挟まれた水路跡が検出できた。この水路跡は調査区域のほぼ中央を西から東に走り、幅は杭もいれて約40cm程である。廃棄された杭列と共にこれらの杭列は約2m前後、深さ10cm程の浅い溝の中に造られている。この溝の南側に接して3本の溝が並行して掘られている。これらの溝は地境を示したものかもしれない。また杭列を伴う水路跡は、その手間のかかった造られ方からみて上水道などに



使用されていたのかもしれない。杭列の間からは漆塗りの椀の底部が、砂層の上面からは漆塗りの小皿が出土しており、いずれも鎌倉時代末期から室町時代初頭の頃の所産と考えられる。

#### 4. まとめ

向河原遺跡は、発掘調査の結果、近世の水田跡と中世の水路跡が検出されたがその時代と機能の特定については、難しいものがあると思われる。

時代については大区画の水田跡は明治時代の図面とわずかな陶磁器片からの推測であり、第二面の水路跡については漆塗りの椀と小皿からの推測となっている。

機能については特に第二面の水路跡に接して掘られている溝は、地面の起伏に沿って掘られていることから地境を示したものと理解すべきではなからうか。



第5図 2区第二面水路跡



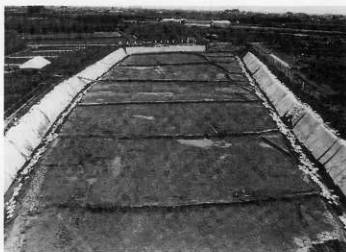
図版1 2区第一面遺跡全体作業風景（北側より）



図版2 2区第二面遺跡全体（南西側より）



図版3 2区第一面遺跡全体  
(北側より)

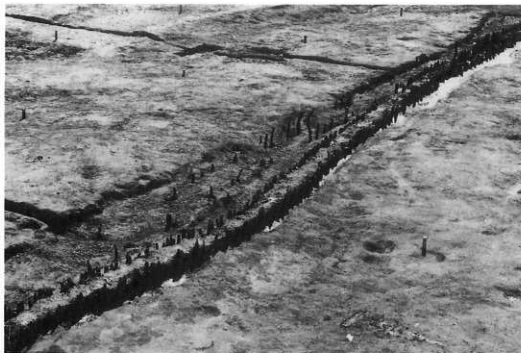


図版4 2区第一面遺跡全体  
(南側より)



図版5  
2区第一面北部水田跡群

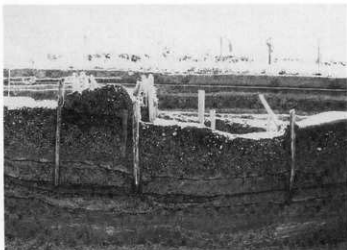




図版6 2区第二面水路跡（北東側より）



図版7 2区第二面水路跡（南東側より）



図版 8  
水路跡 (I-J) 土層断面



図版 9  
水路跡作業風景 (南側より)



図版10  
東側土層断面実測風景

## 調査相識

調査主体	山梨県教育委員会
調査機関	山梨県埋蔵文化財センター
調査担当者	米田明調（山梨県埋蔵文化財センター副主査文化財主事） 高野政文（山梨県埋蔵文化財センター主任文化財主事）
作業員・整理員	秋山松義、雨宮みつ枝、有泉誠子、石原敬子、井上千恵子、井上登、遠藤正美、大法正悟、大法晋吾、大法ひろ子、小野一光、小野良治、木下和子、木下菊江、功刀とよ子、功刀正彦、斉藤玲子、坂井美代子、佐久間春江、佐久間等、沢登五恵、沢登よね、塩沢由樹子、島津志ず枝、島津忠義、志村住子、志村むつみ、住吉敏夫、田中市平、塚田隆宏、塚田ひろ子、都築いつみ、時田わか、中込真太郎、中込ともゑ、中込久子、中込二三子、二宮明雄、花輪壽枝、花輪操、原伊津子、深沢晴雄、藤田かおり、北条貴人、望月祐子
協力者・機関	甲西町教育委員会

## 報告書概要

フリガナ	ムカガワライセキ		
書名	向河原遺跡		
副題	一般国道52号（甲西道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報		
シリーズ	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第88集		
著者名	米田明調・高野政文		
発行者	山梨県教育委員会 建設省甲府工事事務所		
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター		
住所・電話	〒400-15 山梨県東八代郡中道町下曾根923 TEL 0552-66-3881		
印刷所	合資会社 ヨネヤ印刷		
印刷日・発行日	平成6年3月22日・平成6年3月30日		
向河原遺跡	所在地	山梨県中巨摩郡甲西町江原	
	2500分の1 地名・位置・標高	小笠原	北緯 35°35'48" 東経 138°28'23" 標高 260m
概要	主な時代	中世・近世	
	主な遺構	水田跡・溝跡・水路跡	
	主な遺物	木製品、漆器、土師器、陶磁器、木枕	
	特殊遺物	なし	
	特殊遺構	なし	
	調査期間	平成5年4月14日～8月31日	

山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第88集

---

1994年3月22日 印刷

1994年3月30日 発行

向河原遺跡

編集 山梨県埋蔵文化財センター  
山梨県東八代郡中道町下曾根923  
TEL 0552-66-3881  
発行 山梨県教育委員会  
建設省甲府工事事務所  
印刷 合資会社 ヨネヤ印刷

---

